

安全データシート

改訂日:2022年8月23日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	四三酸化鉄
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CB0634
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	酸化鉄(Ⅱ,Ⅲ)
別名	四三酸化鉄, 酸化鉄(Ⅲ)鉄(Ⅱ)
化学式	Fe ₃ O ₄
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:1317-61-9
含有量	94%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-357 / 公表
その他	HSコード:2821.10
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合は容器に注水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。 風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。 取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
接触回避	取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	容器は、換気の良い涼しい所で保管する。 混触危険物質、可燃物から離して保管する。 施錠して保管する。

容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	未設定
管理濃度	第2種粉塵(酸化鉄: 吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵4mg/m ³)
日本産業衛生学会	TLV-TWA 5mg/m ³ (酸化鉄: ダストとフューム)
ACGIH	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には局所排気、全体換気を設置すること。
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粉末
色	黒色
臭い	無臭
融点/凝固点	1538℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし
pH	該当情報なし
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水に不溶。過剰の塩酸に可溶。
n-オクタノール/水分配係数	該当しない
蒸気圧	該当しない
密度及び/又は相対密度	5.2
相対ガス密度	該当しない
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当しない
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱において安定である。 空气中で白熱すると酸化鉄(III)になる。 炭素及び一酸化炭素と加熱すると還元されて鉄になる。
危険有害反応可能性	該当情報なし
避けるべき条件	熱, 酸
混触危険物質	強酸, 過酸化物
危険有害な分解生成物	酸化鉄(III)
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし
生殖細胞変異原性	該当情報なし
発がん性	該当情報なし
生殖毒性	該当情報なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 該当情報なし (急性) 長期: 該当情報なし (慢性)
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壌中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
汚染容器及び包装	

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

—

品名(国連輸送名)

—

国連分類

—

容器等級

—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

消防法

危険物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[酸化鉄]
危険性又は有害性を調査すべき物[酸化鉄]

水質汚濁防止法

指定物質

16. その他の情報

参考文献

The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data
化学大辞典(共立出版)
産業中毒便覧(医歯薬出版)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。